



Magandang hapon

わたしの伊興暮らし

取材
はらとみゆいちゃん
原富雄会長1 いこうきたちょうかい
伊興北町会アイエサさんと
ご主人の繁さんアイエサ・マツモトさん（フィリピン）
Ms.Ayeza Matsumoto (Republic of the Philippines)

結婚をきっかけに伊興ぐらしが始まりました。アイエサさんはご主人の友だちの親せき（血のつながりのある人や結婚などで関係のできた人）です。ご主人の一目ぼれの熱さが、フィリピンと日本の遠距離を飛び越え、ご縁をつなぎました。

赤ちゃんを産む前はフィリピンにいたお母さんのサポートを受けましたが、夫婦で力を合わせて3人の子どもたちを育てました。子どもたちといっしょに町会の盆踊り大会などに参加したことで家族を気にしてくれる人も増えました。松本家の会話は日本語ですが、メールは英語です。日本語を読むことが、むずかしいお母さんを気にかけてくれる子どもたちの成長がうれしいです。

伊興エリアの防災

毎年、開設訓練を実施！
避難所について

区立の小・中学校や都立高校、一部の大学ごとに地域の町会・自治会で組織された「避難所運営会議」。地震や水害など、いざという時に備えて訓練を実施している。伊興エリア内の避難所は8箇所。

年に一度実施する避難所運営訓練では、避難所の設置・運営をはじめ、初期消火、応急救護、災害対応型トイレの設置（写真①東伊興小・伊興中避難所運営訓練）などの各種訓練や、東京都水道局提供の非常用飲料水のリュック型持ち運び袋の体験（写真②西新井第二小・足立工科高避難所運営訓練）などに取り組んできた。開催日時などの詳細は、掲示板や町会・自治会の回覧板で確認できる。多くの人が参加すれば、より強い安心と備えにつながるはずだ。

ウェルカム、17 伊興北根町会！

河内勝利会長が
紹介！

昨年8月の「納涼子どもまつり & 芸能大会」。紙切り芸をはじめ、第十四中学校吹奏楽部や伊興東町会やんちゃ太鼓の演奏の他、屋台や子どもの遊び場など近隣のつながりを活かした企画で好評を博した

会長がサポートする東伊興小学校の畑。子どもたちの農業体験の準備のため自前の耕運機で作業

「過去を踏襲せず新しい発想を」という河内会長の信条どおり、多彩なイベントを実施。会員同士が顔見知りになることは防犯対策にもつながる。不審な電話を受けた町会員が会長に相談し、区危機管理課や警察署と連携し不審な訪問を回避したことも。会長は「普段からの関係が大切ですよ」。

※伊興英知自治会（伊興町自連未加入）



HOT NEWS

プレイバック！
伊興町自連 2024金子貴会長が
顧みる！

11 伊興町アパート自治会

延べ2000名が参加した「伊興町自連連合大運動会（写真①）」が印象に残る。コロナ等で5年ぶりの開催だったが、町会・自治会、伊興地区対（子どもたちの健全な成長を見守る団体等が集まった組織）と協力して運営し盛況だった。町会・自治会や団体を越えた連携ができるのも普段の関係があるから。様々なイベントで活躍する女性・婦人部長の皆さんが集まる会議（写真②）もその一つ。これからも「チーム伊興」で励んでいきたい。

編集後記 ありがとうございます！
当紙休刊後もチーム伊興の勢いは続く！

「伊興町自連NEWS」は、より多くの皆さんに町会・自治会を身近に感じてほしい気持ちで形になったものだ。創刊時はコロナ禍で、多くの人と顔を合わせる機会が少なくなっていた頃。であれば、全戸配布で届けよう！読んでいただける内容にしよう！と毎号、皆で協力しながら、紙面を作ってきた。多くの町会・自治会員の皆さんが登場してくださった。私たち会長の飾らない本音も記事にした。すると、多くの反響をいただいた。新たに仲間になってくれた皆さんもいる。今号をもって休刊となるが、紙面を通してつながった地域の皆さんとのご縁はこれからも続いていく。また次の場所でお会いしましょう。



会長たちの撮影は伊興区民事務所の会議室を撮影スタジオにして実施（写真上）。デザインはろじゅらデザインの猪又さん（写真下）。足立区シルバー人材センターの皆さんのおかげで伊興エリアの全戸へお届けすることができた

12 伊興町自治会 ヒストリー

豊田紀雄会長が
振り返る！

伊興地区の町会・自治会の始まりは「伊興町自治会」だ。設立した昭和32年当時は、現在の伊興エリアの全域に自治会員がいた。その後、人口増加等の影響で、現在の各町会・自治会に分離した。自慢は2つ。1つは、かつては盆踊り大会、現在も子ども向けの企画やご年配の皆さんが集うお花見大会などの会場として親しまれる大境公園。もう1つは、小学生の横断誘導を17年行う近藤宏一さんなど地域を守る人材に恵まれていることだ。



自治会の活動を紹介する新聞や会長直筆のイラスト入りのサンキューレター。会員同士の会話のきっかけになる

私が会長だった頃

取材：屋間雅樹会長

6 伊興町自連相談役 伊興中央町会 元会長（平成17～29年度）
山崎 賢司さん

生まれも育ちも伊興。祖父が若宮八幡神社の総代を務めるなど地域活動に熱心な家庭で育ったため、地域への関心が高く、地域愛が強い。49歳で支部長を務めて以来、総務部長、副会長を歴任し、63歳で町会長に。会長を務めた12年のうち、伊興町自連の連合会長を6年務めた。その間、竹ノ塚駅の高架化工事が始まり、地域の代表として区や鉄道会社との会議にも出席。まちが変わる様子をリアルタイムで体感し積極的に関わったことは貴重な経験になった。現在はご年配の皆さんの事業等を行う「伊興寿会」の会長、足立区の友好自治体や姉妹都市との交流を支援する友好都市交流委員長、若宮八幡神社の総代も務める。「町会長の頃の経験やネットワークが活かしています。ありがたいです」。



伊興町自連NEWS編集委員会 伊興町自連役員

2 伊興西町会 3 伊興五丁目アパート自治会 4 伊興四丁目住宅自治会 5 伊興二丁目自治会 7 西新井四丁目自治会 8 西新井四丁目諏訪木町会 9 西新井第三団地自治会 10 伊興南町会 13 伊興町第2アパート自治会 14 伊興三丁目アパート自治会 15 伊興仲町会 16 伊興町前沼アパート自治会 18 伊興東町会 19 狭間町会 20 東伊興町会